

市内で行う生け花教室には日本人はもちろんアメリカ人の生徒も多数在籍する



「Excellent!」「Wonderful!」市内に住むアメリカ人に流ちょうな英語で生け花を教えるのは池坊岩国支部長で池坊特別嘱託講師の蔵重伸さんです。高知県で生まれた蔵重さんは母親が華道と茶道の先生だったこともあり、幼い頃からお花とお茶が身近にある生活を送っていました。日本古来の生活様式が日常の家でしたが家訓は

「Never give up! Try harder!」前向きで変化もいとわない面を併せ持つ家庭でもありました。大学卒業後、結婚し夫の勤務先であるアメリカのニューヨークに移住することになった蔵重さん。女性が社会の最前線で活躍するアメリカでの生活を体感し、当時の日本が世界に大きく後れを取っていると感じたとはいいます。

そんなアメリカ生活の中で蔵重さんの心境に変化を与える出来事が起こります。「隣の家に住んでいたイタリア人のフラワーデザイナーに日本文化や生け花について深く聞かれた時、何も答えられない自分をとても恥ずかしく思いました」帰国後、改めて華道を学び直そうと、京都の華道家元池坊中央研修学院に入学、

華道技術の研さんに励み、その間に山口県立大学の国際文化修士号も取得しました。その実力を認められ、外務省と池坊家元から女性初の特別派遣講師としてアメリカをはじめ延べ60カ国以上で生け花の指導を行ってきました。その他にも池坊短期大学の常勤教授、岩国短期大学などの非常勤講師や県内ラジオのパーソナリティを務めるなど、幅広い活動を行ってきました。その後、8年間サンフランシスコの池坊北米事務所長を務め、現在は市内で生け花と茶道の教室を開いている蔵重さんは、岩国に特別な思いを持っています。



華道の中でも特別な意味を持つハスを使いイリノイ大学で講習を行った



吉香茶室で開催した生け花展示「月下秋思」にはアメリカ人の弟子たちも訪れた



いけばなは世界をつなげる Bridge

Vol.151
蔵重^{のぶ}伸^{さん}
(砂山町在住)

池坊岩国支部長。世界各国で生け花の指導を行い、ドイツのボン国立博物館などで生け花の展示や講演などを行ってきた。同志社大学や山口県立大学などでは非常勤講師を務め、現在は市内を中心に活動している。

